



#生きぐらさを  
生きていく。

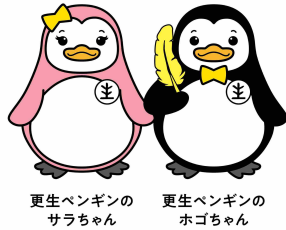


主唱 /  法務省  
MINISTRY OF JUSTICE

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ  
第73回 社会を明るくする運動

## 7月は“社会を明るくする運動” 強調月間・ 再犯防止啓発月間です

“社会を明るくする運動”は、  
すべての国民が、  
犯罪や非行の防止と  
犯罪や非行をした人たちの  
更生について理解を深め、  
それぞれの立場で力を合わせ、  
犯罪や非行のない  
安全で安心な地域社会を  
築くための全国的な運動です。



### “社会を明るくする運動”に参加しよう!

- 更生保護についてもっと知りたい方は
- お問い合わせはお近くの保護観察所まで
- 更生保護ボランティアについては

法務省保護局  
公式Twitter  
アカウント



法務省  
公式YouTube  
チャンネル



法務省保護局  
公式Instagram  
アカウント



一人になるのが嫌だった。  
孤立するのが怖かった。  
誰かといないと、不安に押しつぶされそうで。

仲間たちに誘われた時、断れなかった。  
自分にとっては唯一で、大切なものだったから、  
歪な繋がりになりつづいた。

この街に帰ってきて一年。  
色んな人に囲まれて、いま、自分は働いている。

元気がないと気づいてくれる食堂のおばちゃん。  
失敗を笑い飛ばしてくれる先輩。  
仕事の楽しさも厳しさも教えてくれる社長。  
自分が罪を犯しても、見捨てなかった幼馴染。

たくさんの顔が思い浮かぶ。  
それにすごく、嬉しくなった。

一人でなんでもできるようになることだけが  
自立じゃない。  
困ったら、誰かを頼ったっていい。

きちんと一人、でも孤独じゃない。

#生きぐらさを



# 生きづらさに寄り添い 立ち直りを支援する方法は様々です

**理解を深め  
見守る**

自らの過去と向き合い、罪を償って立ち直ろうとしている人たちへのご理解を、よろしく願います。

**SNSをフォロー拡散**

法務省保護局のツイッターやインスタグラム等で、立ち直り支援に関する様々な発信を行っています。裏面で公式SNSをご紹介しておりますので、ぜひチェックしてみてください。

#立ち直り 応援基金  
#社明73  
#生きづらさを生きていく

**寄付で  
応援する**

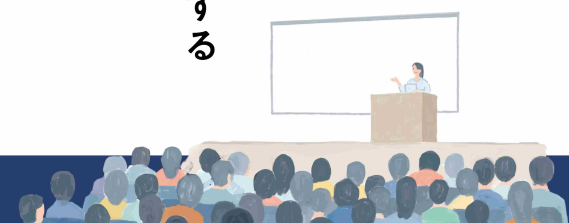
立ち直り応援基金は、一口1000円からインターネットで誰でも気軽に寄付をすることが出来る仕組みです。寄付金は、全国の草の根の立ち直り支援活動に大切に使われます。



立ち直れる。その思いをツナグ。  
**立ち直り応援基金**

## イベントに参加する

全国では、7月の強調月間を中心に、社会を明るくする運動の様々なイベントや広報活動、シンポジウムが行われています。お住まいの地域のイベントに、ぜひご参加ください。



## 立ち直りを支援する 担い手になる

**立ち直りを一番近くで見守る**  
**保護司**

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。地域の事情などをよく理解し、保護観察官と協働して、保護観察を受けている人に面接を通じた助言や指導を行い、受刑者等が社会復帰する環境への働き掛けなども行っています。全国に約4万7000人います。



**更生保護施設**

更生保護施設は、刑務所などを出た後、帰る場所がない人たちに宿泊場所や食事を提供し、自立に向けた指導や援助を行う民間の施設です。自立準備ホームは、更生保護施設以外に宿泊場所を提供するNPO法人等が営む施設です。

**更生保護女性会**

更生保護女性会は、地域の犯罪予防活動や更生支援を行う女性のボランティアです。非行問題を考えるミニ集会のほか、子育て支援活動など、多様な活動を行っています。全国に13万人います。



**若い人の視点で  
立ち直り支援に参加**  
**BBS会**

様々な問題を抱える少年たちと、兄や姉のように身近な立場で接することで、少年たちの成長を助ける青年ボランティアです。全国に約4400人います。



ほかにも、農福事業者、自助グループなど、立ち直り支援の担い手は様々です。そして、食育、スポーツ、アウトドアだっていい。立ち直り支援は、多様な支え合いを必要としています。

**「就労」と「見守り」の  
両方を担う**  
**協力雇用主**



犯罪や非行をした人の立ち直りには、働くことが大変重要です。協力雇用主は、犯罪や非行をした人の自立や社会復帰に協力することを目的として、彼らを雇用しようとする事業主です。全国に約2万5000事業者がいます。